

花粉症の治療

耳鼻咽喉・頭頸科 助教 八尾 亨

花粉症はスギ、ヒノキなどの植物の花粉を原因とする、季節性のアレルギー性鼻炎と定義されます。現在、日本人の4～5人に1人は花粉症を有しているといわれています。春の足音が近づくにつれて、この花粉症のせいで憂鬱になる方も多いのではないのでしょうか。花粉症の対策は、マスク・眼鏡の装用、鼻うがいの実施など、花粉との接触を減らすセルフケアが重要ですが、病院で行うことのできる花粉症の治療としては、次のようなものがあります。



耳鼻咽喉・頭頸科
助教 八尾 亨

1)薬による治療

鼻のアレルギー反応を抑える、抗アレルギー剤の内服や、抗アレルギー作用のある点鼻薬が有効です。内服薬の副作用には眠気がありますが、最近では眠気の少ない内服薬も開発されており、患者さんの症状やニーズに応じた薬物療法が可能になってきています。抗アレルギー剤の内服は効果が出るのに時間がかかることがあるので、飛散前から早めの内服をすることも必要です。



2) 手術による治療

薬物療法で十分な効果が上がらない場合、いわゆる外科的な治療が適応になります。当院では、アルゴンプラズマ凝固装置を利用した治療を行っております。アレルギー反応により腫れた鼻粘膜を一部やけどさせることにより、粘膜の収縮が起こり鼻の通りがよくなります。鼻づまりに対しては90%の人に効果があり、一時間程度の日帰り手術で対応可能です。

特に重症のアレルギー性鼻炎の場合、くしゃみ鼻水などのアレルギー症状を引き起こす神経を切断する手術で、後鼻神経切断術も行っています。これは全身麻酔を用いて10日間程度の入院で行います。

アルゴンプラズマ凝固法



焼灼風景



焼灼時鼻内所見

患者さんのニーズ、症状の強さによって、治療法にはさまざまなバリエーションが存在しますので、花粉症でお悩みの方は、何なりと耳鼻咽喉・頭頸科医師にご相談ください。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
スギ		■	■	■								
ヒノキ			■	■	■							
イネ科					■	■	■					
ブタクサ								■	■	■		

参考資料: 東京都福祉保健局

